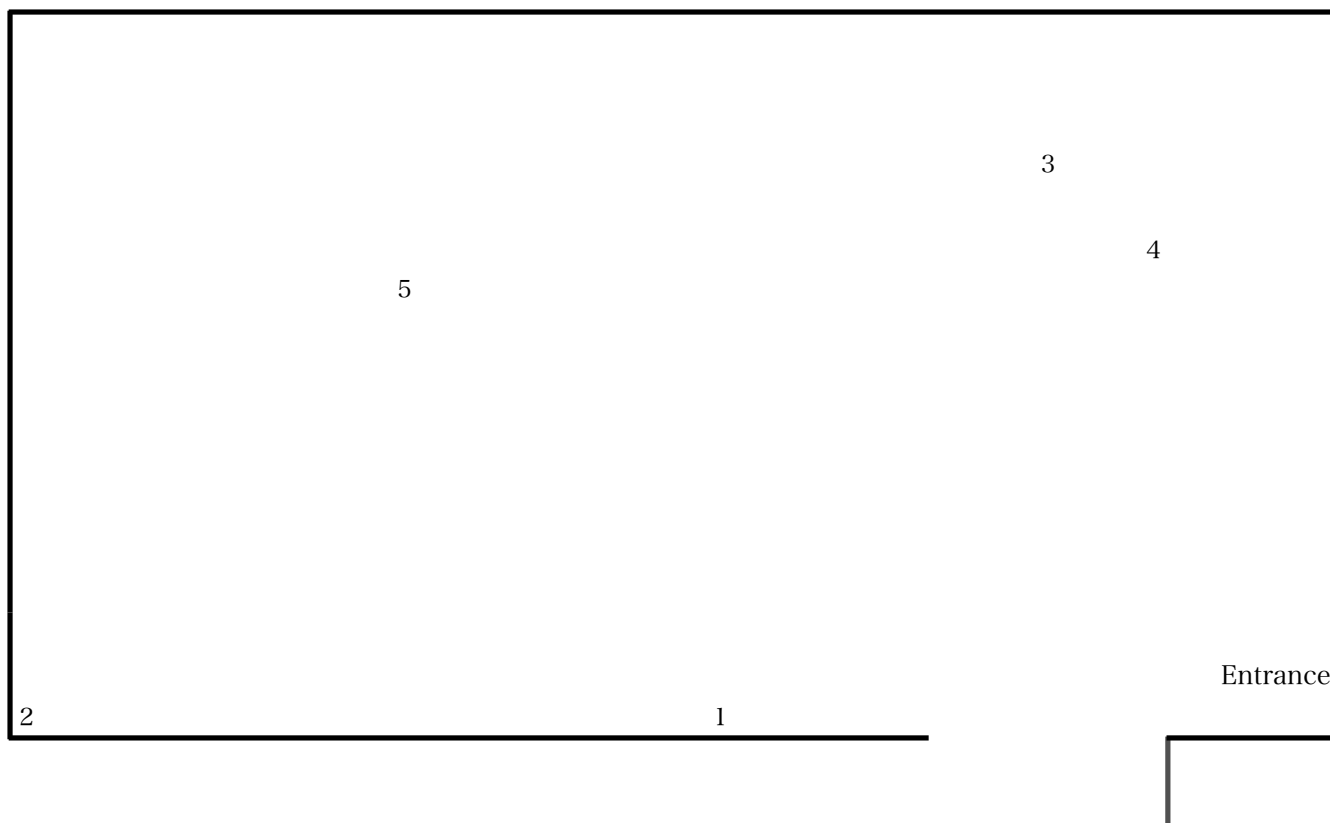


山田命佳展「幻想の花」 2023.5.7(sun) - 5.20(sat)



Entrance

9 8
7 6

No	作品No	作品名	制作年	サイズ	素材/技法	価格(税抜)	価格(税込)
1	2305-01	境界の花_01	2023	300×300×200	真鍮 ワイヤーワーク	¥90,000	¥99,000
2	2305-02	境界の花_02	2023	300×300×300	真鍮 ワイヤーワーク	¥90,000	¥99,000
3	2305-03	境界の花_03	2023	150×150×150	真鍮 ワイヤーワーク	¥65,000	¥71,500
4	2305-04	境界の花_04	2023	150×150×150	真鍮 アクリル ワイヤーワーク	¥180,000	¥198,000
5	2305-05	結界	2020	1800×1800×1800	真鍮 アルミ	¥270,000	¥297,000
6	2305-06	年輪1/16	2022	A4	真鍮 桜の葉 ワイヤーワーク	¥68,000	¥74,800
7	2305-07	年輪1/16	2022	A4	真鍮 桜の葉 ワイヤーワーク	¥68,000	¥74,800
8	2305-08	年輪1/16	2022	A4	真鍮 桜の葉 ワイヤーワーク	¥68,000	¥74,800
9	2305-09	年輪1/16	2022	A4	真鍮 桜の葉 ワイヤーワーク	¥68,000	¥74,800



山田命佳 YAMADA michika

1985 新潟県生まれ

2008 長岡造形大学金属工芸コース 卒業

[主な展覧会]

2023

「山田命佳-幻想の花-」展 galerieH/東京

2022

「山田命佳-年輪-」マキイマサルファインアーツ/東京

2021

「八色の森美術展-スピンオフ-」人形町ヴィジョンズ/東京

「池袋アートギャザリング 入選」展 東京芸術劇場/東京

「第5回八色の森美術展」池田記念美術館/新潟

「山田命佳-カゴメ-」展 JINEN GALLERY/東京

2020

「山田命佳-無意識-」展 JINEN GALLERY/東京

「第4回八色の森美術展」池田記念美術館/新潟

2019

「山田命佳-Thinking Time-」展 JINEN GALLERY/東京

2018

「ブレイク前夜」展 Art in PARKHOTEL TOKYO/東京

「山田命佳」展 JINEN GALLERY/東京

「山田命佳」展 たびのそら屋/新潟

「Accumulate Vol.6」展 JINEN GALLERY/東京

[media]

2016

BSフジ「ブレイク前夜-次世代の芸術家たち-」

日本テレビ「ZIP」

日本テレビ「ぶらり途中下車の旅」

日本テレビ「next クリエイターズ」

[award]

2021

池袋アートギャザリング 入選

2011

JJAジュエリーデザインアワード2011 新人部門 入選

全国ジュエリー・アクセサリデザイン画コンテスト テーマ部門 奨励賞受賞

第15回パールジュエリーデザインコンテスト 入選

2010

日本ジュエリーアート展 under26部門 入選

2009

JJAジュエリーデザインアワード2009 新人優秀賞受賞

2008

日本ジュエリーアート展 under26部門 入選

細い金属の針金を使ったワイヤーワークでの作品制作を主とする造形作家。

金属ワイヤーの魅力にのめり込み、技術の研究、積み重ねからその先にある創造性を模索するための作品制作を続けている。

金属の針金を手で曲げ続ける行為を作品として表現しています。

作品を通して人間と自然の関係性、人間と社会の関係性、人間と人間の関係性について考えています。

金属の針金を編むという単純な行為の繰り返しが一つの作品として形態化する様子を一人一人の人間の繰り返される日々の生活が織りなす社会に投影しています。

私の制作について

作品を通して人間と自然の関係性、人間と社会の関係性、人間と人間の関係性について考えています。

金属の針金を曲げ、ねじり、編むという単純な行為の繰り返しは私にとっては身体表現のようでもあり、一つの作品として形態化する様子を一人一人の人間の繰り返される日々の生活が織りなす社会に投影しています。

文化について

今回の展示では彼岸花をテーマとしました。

新潟の農村部で生まれ育った私にとって広大で豊かな自然は生活の一部として常に存在しました。

彼岸花はその根に持つ毒性を利用して田畑の作物を守るための結界として古くから用いられてきました。私は彼岸花を利用して生活を守る人間の毒を恐れず不敵にも利用して自らの暮らしに役立てるという考えに至る精神性に力強さを感じます。

作品について

彼岸花は花が咲いている秋の間は葉が出ず花が枯れ冬になると葉を茂らせます。

他の植物が枯れている時期に十分に日光を浴び、春になり他の植物が芽吹く頃になると地上部分は全て枯れます。

この彼岸花の生態に私は現代社会における人間関係との類似性を感じました。

自然の中で周囲に同調するのではなくあえて周囲とすれ違うことで周囲を害することなく自身も生き延びることが出来る彼岸花の生き方は、人間社会における他者との関わり方や自身のあり方を考えさせられます。

私は作品の中で彼岸花の形態を表現することにより人と人との関係性、自然との関係性を考察し表現しています。